

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 乙 第 号
------	---------

氏 名 吉川 由貴

論 文 題 目

A survey of Japanese physician preference for attire:
what to wear and why

(家庭医の診察衣の実際と理想

—選択理由を含めた診療現場ごとの比較—)

論文審査担当者 名古屋大学教授

主 査 委員 若井建志
名古屋大学教授

委員 八木哲也
名古屋大学教授

委員 錦織 宏
名古屋大学教授

指導教授 葛谷雅文

論文審査の結果の要旨

医師の診察衣に対する嗜好を調査するために、全国の家庭医療専門医を対象に、診察衣の実情及び各診療施設（病院、診療所、在宅診療）での診察衣嗜好や診察衣選択理由を Web アンケートで調査した。病院での実際及び理想の診察衣は白衣が最多で、多くは専門的という理由であった。一方で診療所や在宅診療では実際の診察衣は非白衣が多く、理想の診察衣はカジュアルを中心に非白衣割合がさらに増えた。それは共感的という理由が多かった。本邦の家庭医は診療の場毎に異なる理由を重視し服装を選択することが示唆された。

本研究に対し、以下の点を議論した。

1. 家庭医療専門医の年齢構成に関して日本プライマリ・ケア連合学会から返答は得られなかったが男女比は概ね一致していた。2014 年に報告された家庭医療専門医の活動に関する実態調査(アンケート調査:回答率 78.7%)では、30 歳代が 74%、40 歳代 23%、50 歳代 1.7%、60 歳代以上 1%であった。本研究を 2014 年調査結果の 5 年後と捉えると、各年齢層の大きな集団構成の差異はないと推察した。
2. 奈良時代に仏教が盛んになると仏教医学が伝わり、僧が医療に携わった。中世以後も僧医の勢力は強く、剃髪・僧衣といった僧形の風貌は江戸末期まで続いた。江戸時代中期に束ねる髪型（束髪）の文化が広まり、剃髪派と束髪派に二分された。江戸幕府の医官は苗字帯刀が許可され、武士と同様に着物・髷姿であった。医官以外は町医者で、武士の身分ではなかった。江戸時代の医師の服装は、武士や僧に準じた服装、庶民と同様の服装が混在していた。
3. 医師の白衣着用は患者に専門家としての安心感や信頼感を与える。本邦を含め世界的に患者は病院・診療所ともに専門的という理由で白衣を好む。本研究で病院での医師・患者間の診察衣嗜好は一致していた。一方、病院以外の施設では患者の診察衣嗜好とは異なり、医師が非白衣を好む結果であり、共感性を重視しカジュアルを選択する医師が増加した。白衣は患者の緊張感を高め、コミュニケーションの壁となりうる。本邦で患者との壁を無くす目的で白衣を禁止する病院もあり、患者の生活により近い診療所や在宅診療では、患者の緊張感緩和や関係性構築を意識し白衣を着用しない可能性が考えられる。これに関しては医師側のさらなる調査が必要である。今回、医師が共感性を考慮し診察衣選択を行っていたが、「共感的か」に関しては、医師の患者思考の推定にすぎず、実際に患者が服装を通しての共感性を望んでいるかは調査が十分ではない。患者が白衣をより共感的と捉える報告もあり、患者はカジュアルな服装を共感的と捉えない可能性がある。本研究は、医師が施設毎に異なる理由から服装選択を行うことを明らかとした。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 乙 第	号	氏 名	吉川由貴
試験担当者	主査 若井建志		副査 ₁ 八木哲也	
	副査 ₂ 錦織 宏		指導教授 葛谷雅文	
(試験の結果の要旨)				
<p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 回答者として得られた集団と、母集団との集団特性の差について2. 江戸時代の医師の服装について3. 医師と患者の服装嗜好のギャップについて <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、総合診療医学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p>				

学力審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 乙 第	号	氏 名	吉川由貴
試験担当者	主査 若井建志		副査 ₁ 八木哲也	
	副査 ₂ 錦織 宏		指導教授 葛谷雅文	
(学力審査の結果の要旨)				
<p>名古屋大学学位規程第10条第3項に基づく学力審査を実施した結果、大学院医学系研究科博士課程を修了したものと同等以上の学力を有するものと学位審査委員合議の上判定した。</p>				